

奈良時代.2

名前

解答

解答

- 問1 平城京は、長安にならって造られた。長安は、何という国の都か。 (唐)
- 問2 奈良時代には、租・調・庸といった税負担が人々に課された。租・調・庸はどのような税負担か。
 (租:口分田の面積に応じて稲を収めること。)
 (調:絹や地方の特産品などを収めること。)
 (庸:労役のかわりに布などを収めること。)
- 問3 奈良時代には、人々に多くの税負担が課された。この時代に戸籍に登録された男女の数をみると、女の数が圧倒的に多い。これはなぜか。
 (男に課される重い負担をまぬがれようとしたため)
- 問4 723年に、人々が新しく開墾した土地は、租を納めていれば、一定の期間私有を認める制度ができた。この制度は何か。 (三世一身法)
- 問5 墾田永年私財法が出されると、貴族、寺院、郡司などは農民を使って開墾を行ったり、農民が開墾した土地を買い取った。このような私有地を何というか。 (荘園)
- 問6 天平とは何か。 (聖武天皇のときの元号)
- 問7 聖武天皇の遺品や遣唐使が唐から持ち帰ったものが保管されているのは東大寺のどこか。 (正倉院)
- 問8 聖武天皇は、仏教の力で国家を守ろうとし、国ごとに何を作ったか。 (国分寺、国分尼寺)
- 問9 聖武天皇は、仏教の力で国家を守ろうとし、都に何を作ったか。 (東大寺)
- 問10 仏教の教えを日本に伝えるため、日本に渡ろうとして何度も遭難し、盲目になった人物は誰か。 (鑑真)
- 問11 奈良時代には、日本の国のおこりや、天皇が国を治めることの由来を説明するために歴史書が作られた。この歴史書を2つ挙げよ。 (古事記) (日本書紀)
- 問12 奈良時代には、国ごとに地理・産物・伝承などを記した書物が作られた。これを何というか (風土記)
- 問13 奈良時代には、天皇、貴族、農民が作った和歌を集めた書物が作られた。これを何というか。 (万葉集)

